

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ペーテルの夢		公表日 2026/6/15		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・運 備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5		学校と連携をとりながら行っている。	必要に応じて適切な教具教材を使用していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			・基準配置を守り適切に配置している。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			・職員ミーティングで細かく情報共有している。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・定期的に保護者様の意見伺える場を設けていけるようにする。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・職員朝礼にて個々が意見を述べられるように取り組んでいる。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			・監査や法人本部、外部アドバイザー（小児精神科医等）からの助言を適宜、受けている。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			・事業所内の研修を充実させていきたい。
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5			・適宜、職員間で見直し改善しより良いもの策定していけるようにする。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			・引き続き、支援者会議等で話し合い計画に落とし込んでいった。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5			・必要に応じて適切に支援できるように小まめに共有していった。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			・必要に応じて適切に支援できるように小まめに共有していった。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			・より専門的なツールも取り入れていけるようにする。 ・アセスメントシートを用いて見直し改善できるようにする。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5			・改定に基づきガイドラインに沿った適切な内容を設定していく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			・児発管の指示のもと職員間でチームで支援内容を精査していけるようにする。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			・丁寧に情報共有し支援の内容について具体的に話し合えるようにしていった。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			・引き続きをしっかりと行い、緊急時は都度ミーティングを行い必要に応じて適切に支援できるように小まめに共有していった。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5			・学校と会議や話し合いを行い連携を図ることで、理念や方針に関しても理解し尊重出来るようにする。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5			・引き続き、丁寧な観察と記録で支援の振り返りを都度行い改善に繋げられるようにする。	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			・報告書の共有時に支援者会議を行い必要な見直しなどを適宜行っていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			・引き続き、児発管等の熟知したものが参加していく。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			・関係機関との連携を強化していく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			・関係機関との情報共有を図る。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5			・引き続き、研修への参加や事務局としての活動を通じて助言を受け支援に活かしていく。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5			・自立支援協議会の委員を継続できるようにする。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			・保護者様が話しやすい環境が機会を積極的に設けられるようにする。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			・ペアレントトレーニングや家族参加のできる機会は今後検討中。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			・適宜、変更等があれば速やかに周知する。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5			・保護者の依頼により事前に依頼文や具体的な説明を対面や会議等で説明している。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			・個別の保護者面談の希望を募り機会をもったり、都度、必要に応じて個別対応するなど行っている。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5			・個別支援計画書を説明しながら署名を頂いている。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5			・個別の保護者面談の希望を募り機会をもったり、都度、必要に応じて個別対応するなど行っていた。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1		ベータールカフェが再開できると良い。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			・引き続き、迅速で丁寧な対応を心掛ける。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			・ベータール通信を毎月発行し、年1度法人の広報誌を発行、HPやSNSを通して活動内容を発信している。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			・引き続き、安心安全の対応を取っていく。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			・情報伝達も双方でしっかり理解できるように丁寧な説明を口頭で行い時には文書で説明するなど配慮し保護者様の不安感が募らないようにコミュニケーションを図った。
訪問先	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5			・校長や担任と小まめに情報共有を行い、より丁寧な相談にあたるように配慮した。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5			・支援後のフィードバックは丁寧に行い、課題の整理や情報共有を行うことで信頼関係を築けるようにした。

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5			・報告書を作成し、成長部分の共有や課題等の整理を行い支援方法を見直していった。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			・引き続き、安心安全の対応を取っていく。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5			・校長や担任と小まめに情報共有を行い、より丁寧な相談にあたるように配慮した。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			・必要に応じて、適宜見直し改善していく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			・研修や勉強会等を通して適切に必要な情報を共有し訓練に取り入れられるようにしていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			・大きなことや口頭のみ共有に留まらず、しっかり文書で回覧でき、職員全体で周知出来るようにする。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			・引き続き、安心安全の提供、職員の資質向上に努める。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			・身体拘束については保護者へ入所時に説明をし誤解が生じないようにしている。 ・強度行動障害の研修を受け、適切な対応が出来るように配置している。